

○第35回かび毒・自然毒等専門調査会

日時：平成27年5月29日（金）14：00～15：17

議事概要：

（1）フモニシンの食品健康影響評価について

- ・フモニシンの食品健康影響評価に係る今後のスケジュール（案）について、事務局より説明を行った。
- ・FAO/WHOとEFSAの評価概要について、事務局より説明の後、評価の骨子案、評価対象及び優先的に収集すべき知見等について審議が行われた。
- ・日本と海外における食品・飼料中の汚染実態調査等について、事務局より説明の後、補完的に汚染実態調査を実施することが望ましい食品について審議が行われた。
- ・食品安全確保総合調査と並行して、次回以降の専門調査会で引き続き審議することとされた。

（2）その他

- ・平成27年度食品安全委員会の運営等について、事務局より説明を行った。
- ・乳に含まれるアフラトキシンM1について、厚生労働省における審議状況に関して、事務局から報告した。

*フモニシン：主に *Fusarium* 属が産生するかび毒。

世界各地のトウモロコシから高濃度、高頻度に検出される。

ウマで大脳白質脳症、ブタで肺水腫といった臨床症状を示し、ヒトでは神経管閉鎖障害との関係が示唆されている。